

すわみつえ通信

No.367 2025年7月21日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

共産党3議席を確保 自公・参院でも過半数割れ

7月20日投開票でおこなわれた参議院選挙でのご支援に心から感謝申し上げます。

目標の埼玉選挙区での伊藤岳再選、比例5人当選には残念ながら届きませんでした。医療・介護の給付を減らす、日本人ファーストと言い外国人排除、「非国民」なる戦時下に歴史を戻すかの発言。日本共産党はいつさいの差別に反対してきました。

日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を三大原則にしています。これをことごとく踏みしめる国づくりを許してはなりません。誰でもが安心して生活できるよう引き続き力を尽くしていきます。

参議院選挙 鴻巣市選管 開票結果

政党等の名称	0:30	1:30	2:30	3:30	最終
日本共産党	0	0	2,000		2,946,070
日本維新の会	0	0	2,000		2,430,939
無所属連合	0	0	0		207,000
日本保守党	0	0	1,000		2,579,000
立憲民主党	0	3,000	6,000		8,679,776
参政党	0	3,000	6,000		6,768,000
国民民主党	0	3,000	5,000		7,654,696
チームみらい	0	0	1,000		1,237,000
日本誠真会	0	0	0		276,000
社会民主党	0	0	1,000		1,370,000
れいわ新選組	0	3,000	3,000		3,825,000
日本改革党	0	0	0		44,000
自由民主党	0	3,000	9,000		11,669,568
再生の道	0	0	0		394,000
公明党	0	3,000	5,000		5,430,946
NHK党	0	0	0		546,000
開票率%	0	31.56	71.89		100



▶ 伊藤岳ごあいさつ ◀

自民党の悪政に、また、差別・分断に抗う市民の皆さんの大きなうねりとともに、逆転勝利をめざしましたが、議席には届きませんでした。力不足をお詫びします。

自公を少数に追い込んだ国民の皆さんの願いに答える政治の実現へ、力を尽くします。差別・排外主義とたたかい、憲法を守り抜きます。【伊藤岳】

候補者氏名	22:00	22:30	23:00	23:30	0:00	0:30	1:00	最終
江原くみ子	0	0	1,000	5,000	8,000			8,090
津村大作	0	0	0	0	0			102
伊藤岳	0	0	1,000	3,000	3,400			3,509
矢倉かつお	0	0	1,000	5,000	7,400			7,649
武藤かず子	0	0	0	1,000	1,000			1,062
増山ゆうか	0	0	0	0	200			384
高井たまき	0	0	0	1,000	1,000			1,024
山田信一	0	0	0	0	400			464
桜井ななえ	0	0	1,000	3,000	3,000			3,108
くまがい裕人	0	0	1,000	5,000	9,000			9,616
りゅうのまゆみ	0	0	0	1,000	2,000			2,090
古川俊治	0	0	1,000	5,000	9,000			9,761
大津力	0	0	1,000	5,000	6,800			6,861
斉藤よしひで	0	0	0	0	400			509
石濱哲信	0	0	0	1,000	1,600			1,693
開票率%	0	0	12.27	61.37	93.28			100

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

【俳句コーナー】
炎天下いよよ燃え咲く百日紅
瑠璃子

被爆80年 核兵器のない、戦争もない平和な世界へ なくそう核兵器！ 原水爆禁止 2025 国民平和進行鴻巣

原水爆禁止国民平和進行は、1958年6月に行進が始まり、以来、北は北海道から、南は沖縄など全国各地から出発し、被爆者とともに核兵器のない平和の願いをつないで8月の広島、長崎をめざして歩くパレードです。

世界には今も約12000発の核兵器が存在し、紛争、戦争がつづいています。軍事衝突は多くの犠牲者をうみだすだけです。紛争、戦争が一日も早く終結し、平和が訪れることを願います。今年は広島、長崎の被爆から80年を迎えます。80年の節目を迎えるにあたり、昨年12月、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞し、世界中から賞賛の声が届きました。



鴻巣市役所内をパレード＝7月17日

鴻巣では、市内団体で構成する2025原水爆禁止国民平和進行鴻巣実行委員会が、7月17日(木)朝



出発式＝市役所前

8時45分に鴻巣市役所駐車場で、原水爆禁止国民平和進行の出発式を行いました。並木市長の平和メッセージを危機管理監が代読し、市議会を代表して橋本議長が「原水爆禁止国民平和進行が今年も成功裏に修了し、多くの皆さんの心に届くことを願います」とご挨拶が述べられました。

参加者の皆さんは、鴻巣市役所内をパレードし、その後、宣伝カーは市内を「なくそう核兵器」とアピールしながら、北本の国民平和進行に繋がりました。

被爆80周年 第40回 埼玉県原爆死没者慰霊式を開催



埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)は7月20日午前10時からさいたま市(浦和コミュニティセンター)で「第40回埼玉県原爆死没者慰霊式」を開きました。慰霊式は1986年被爆40周年を記念し、埼玉県知事、全市町村2千名を超える県民有志からの浄財により、別所沼公園に埼玉県原爆死没者慰霊碑が建立されたのを機会に、開催されてきました。

県内在住の被爆者および被爆二世とその関係者が、今日までに原爆のため亡くなられた方々の御霊の前に集い、参加者全員で献花をおこない哀悼の誠を捧げ、あわせて壮絶で悲惨な経験を三度繰り返さないために、生きている限り世界中に核廃絶を訴え続けることを誓いました。

慰霊式にあたり、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)事務局次長の濱中紀子さんから案内を受け、鴻巣から鴻巣革新懇、鴻巣市民の方も参列しました。

慰霊式で、大野元裕県知事、白土幸仁県議会議長、清水勇人さいたま市長のあいさつの次に広島市長、長崎市長、日本被団協から追悼メッセージが披露されました。続いて、各政党の代表があいさつがありました。日本被団協から「私たちは一日でも長く生きて、核兵器廃絶と原爆被害への国家補償を必ず勝ち取ることを、ここに固くお誓い申し上げます」とあいさつがありました。